

## 東京理科大学 科学技術コミュニケーションセミナー

## 概要

## 科学を社会に伝える

時代の最先端の科学的発見や発明、大学で学んだ理工系の知識をもとに人々に伝えるスキルを身につけてみませんか？

この度、「科学技術コミュニケーション」について考えるセミナーを全2回開催いたします。科学技術を社会に伝えるスキルを学び、伝えることで社会の安全・安心と発展につなげる。これが科学技術コミュニケーターのミッションです。

そのためには、あなたが科学的真実を深く、正確に理解しているだけでなく、難しいことを専門外の人々に「なるほど、そういうことなのか」と目からウロコが落ちるように伝える表現者としての能力も磨かなければなりません。セミナーでは、「科学を社会に伝える」をキーワードに参加者の皆さまと議論をいたします。

東京理科大学の学生はもとより、他大学生、中学・高校教員、一般の皆様の参加を歓迎します。

「難しいことを易しく、易しいことを深く、深いことを面白く、面白いことを真面目に、真面目なことを愉快地、そして愉快なことはあくまで愉快地」 井上ひさし

## 第1回

10月9日（土）14:00～16:00

- ・趣旨説明 秋山仁 東京理科大学特任副学長・理数教育研究センター長
- ・高橋真理子氏 科学ジャーナリスト  
「伝える技術のABC」
- ・武村政春 東京理科大学 教養教育研究院 神楽坂キャンパス教養部 教授  
「ウイルスの真実を知ろう ～ウイルスリテラシーの重要性～」

## 第2回

11月13日（土）14:00～16:00

- ・趣旨説明 秋山仁 東京理科大学特任副学長・理数教育研究センター長
- ・中村桂子氏 JT生命誌研究館名誉館長  
「今 重要なのは世界観 —科学と日常を重ねて—」
- ・横山広美氏 東京大学 国際高等研究所 カブリ数物連携宇宙研究機構 教授  
「私と科学と社会：研究の立ち位置と具体例」
- ・興治文字 東京理科大学 教育支援機構 教職教育センター 准教授  
「科学の魅力を伝える楽しさと難しさ」

- 対象：東京理科大学 学生、他大学生、中学・高校教員、一般の方
- 定員：300人（先着）
- 参加費：無料
- 開催方法：Zoomによるオンライン（開催2日前にURLをお知らせします。）
- 申し込み：<https://www.tus.ac.jp/event/entry/pr/2021Sciencecom/>

※PC、スマートフォンまたはタブレットとインターネット環境は各自ご用意ください。  
※セミナーは全2回開催しますが、どちらか1回の参加も可能です。



【お申込み・お問い合わせ先】

東京理科大学 教育支援機構 理数教育研究センター事務局（学務部学務課）

TEL：03-5228-7329 FAX：03-5228-7330 E-mail：rcmse@admin.tus.ac.jp

## 講演者 略歴

10/9

### 高橋真理子 氏 「伝える技術のABC」

東京大学理学部物理学学科卒。1979年朝日新聞社入社、論説委員、科学エディター（部長）、科学コーディネーターなどを務める。2021年9月、朝日新聞社退社。著書に『重力波発見！』（新潮選書）など。朝日新聞が運営する言論サイト「論座」に随時寄稿している。

10/9

### 武村政春 教授 「ウイルスの真実を知ろう ～ウイルスリテラシーの重要性～」

1969年三重県津市生まれ。1992年三重大学生物資源学部卒、1998年名古屋大学大学院医学研究科博士課程修了。博士（医学）。名古屋大学助手、三重大学助手、東京理科大学准教授等を経て、2016年より東京理科大学教授。専門は水圏生命科学（ウイルス学）ならびに生物教育学。著書に『生物はウイルスが進化させた』（講談社ブルーバックス）など多数。

11/13

### 中村桂子 氏 「今 重要なのは世界観 —科学と日常を重ねて—」

1936年東京生まれ。分子生物学から生命科学へと転換する生物研究の中で、生きものの歴史と関係に注目する総合知である「生命誌」を生み出す「研究館」を創設。独自の表現を模索しながら「生命論的世界観」を構築し発信している。

11/13

### 横山広美 氏 「私と科学と社会：研究の立ち位置と具体例」

東京大学教授。専門は科学技術社会論。東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構 (Kavli IPMU) 所属、学際情報学府大学院兼担。大学院まで素粒子実験を修めた。最近は大規模科学の社会学、AI倫理 (ELSI)、ジェンダーと科学をテーマに研究をしている。

11/13

### 興治文子 准教授 「科学の魅力を伝える楽しさと難しさ」

専門は物理教育、理科教育。日本大学理工学部助手、新潟大学教育学部准教授を経て、2018年より現職。主な研究テーマは、物理学における多様表現の困難と克服、ICT活用、明治期の物理教育、科学的リテラシーの育成。物理教育普及活動にも力を入れている。